

ソビエトからロシア、時代を超えて愛される名画を生み出した両監督を
公開当時の35mmフィルムで偲ぶ

アレクサンドル・ミツタ監督(1933-2022)作品

2026年 7月7日(火)

モスクワわが愛

13:00~



(1974年/93分)

栗原小巻主演。ポリショイ劇場でプリマを踊るのが夢だった日本女性と彼女をめぐる二人の青年との愛を描くドラマ。日本=ソビエト合作。

未来への伝言

14:45~



(1990年/113分)

栗原小巻主演。1960年前後に世界中で猛威をふるったポリオ(小児マヒ)から子供達の生命を救うためにソ連の生ワクチンを入手しようと運動した母親たちの姿を描く。日本=ソビエト合作。

アレクサンドル・ミツタ監督 & セルゲイ・ソロヴィヨフ監督

追悼映画祭

7月27日(月)

13:00~

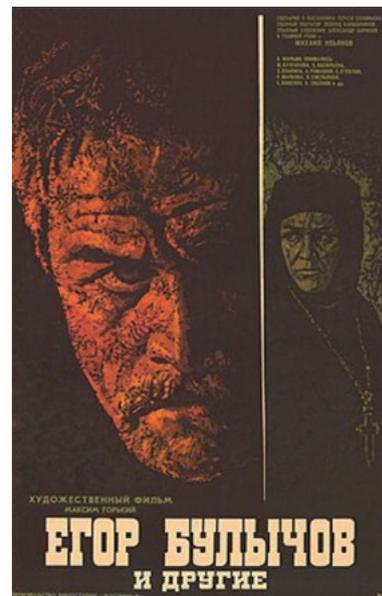


白夜の調べ

(1978年/95分)

栗原小巻主演。音楽が取りもつ縁で、夫がありながら作曲家と愛し合う新進ピアニストの苦悩を描く。ソロヴィヨフ監督は脚本も担当。

14:50~



エゴールブルイチョフ

(1971年/90分)

ロシア革命を舞台に、ガンを宣告された主人公の周囲に群がる人間の心理葛藤を描く。マクシム・ゴーリキーの戯曲の映画化。音楽はエ・シュヴァルツが担当。ロシア文学が如く厚重的な作品。

セルゲイ・ソロヴィヨフ監督(1944-2021)作品

浜離宮朝日小ホール

7月7日、27日とも入場料:1,000円(1日券)

お問い合わせ:株式会社ロシアン・アーツ ☎03-5919-1051

主催/ロシア文化フェスティバル日本組織委員会&ロシアン・アーツ
後援/ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、
日協、INARTEX
協力/東宝株式会社、アテネ・フランセ